

6月21日(火)~7月20日(水) 満月セレクト

— 今回のセレクトアー ご紹介 —

Music Selector : 長谷川 純子



長谷川 純子

1981年神奈川県生まれ。ビートルズをきっかけに、60~70年代の音楽を聴き漁る。コンサートホールなど音楽関係のアルバイトをした後、大学在学中から現在までFMラジオ局InterFMに勤務。「Barakan Beat」等の番組を担当した。ピーター・バラカン氏が監修する音楽フェスティバル「Peter Barakan's LIVE MAGIC!」にも携わる。

今回のセレクトCD

1.



Clare and the Reasons / Arrow (Frog Stand Records / FSR004)

ヴォーカル&ギターのクリア・マルダーと、彼女の夫でヴァイオリン奏者のオリヴィエ・マンションを中心としたチェンバー(室内楽)ポップを奏でるグループ、クリア&リーズンズの2作目。アメリカン・ルーツ・ミュージックを代表する音楽家ジェフ・マルダーを父に持つクリアの温かくも軽やかな歌声と、ピアノやギター、作曲・編曲までをこなすオリヴィエの感性が織りなす多彩で緻密な音色がとても爽やかに響きわたります。

2.



The High Llamas / Talahomi Way (P-VINE / PCD-93395)

1991年に奇才・ショーン・オヘイガンがロンドンで結成したバンド、ハイラマズ。ピーチ・ボーイズからも影響を受けたといふどこまでも夢見心的なサウンドは桃源郷ポップとも呼ばれています。アルバム・タイトルの「タラホミ」は架空の街。鬱蒼とした梅雨の時期に目を閉じてこのアルバムを聴き始めれば、たちまち別世界へとトリップ! リゾート気分させてくれる1枚です。

3.



Elizabeth Mitchell / Little Seed: Songs for Children By Woody Guthrie (サンビーニャ / FLSI-22021)

インディ・バンドのヴォーカリストとして活動する傍らソロ名義で子供向けの歌を集めたアルバムを制作しているエリザベス・ミッチェル。このアルバムは、アメリカのフォーク・シンガー、ウディー・ガスリーの生誕100年を記念して作られ、ウディー・ガスリーの代表曲でもある「This Land Is Your Land」もカバー。大人もほのぼのとした気分が楽しめます。

4.



Eddi Reader / Simple Soul (Rough Trade / RTRADECD011)

元フェアグラウンド・アトラクションのヴォーカリスト、エディー・リーダーが昔からの気の合った仲間達と制作したという作品。インド製の楽器のハルモニウムやペダル・スティール・ギター、子供用のピアノといったすべて素朴であたたかい音色とエディー・リーダーの優しい歌声が心地良く、初夏の夕暮れ時にぴったり。7月上旬に2年ぶりの来日公演もあります。

5.



Les Nubiens / Princesses Nubiennes (Higher Octave / 45997)

カメルーンにルーツを持つ、フランスのポルドー出身の姉妹デュオ、レ・ヌビアンズのデビュー作。ゆったりとしたジャズ系R&Bでアフリカの精神性を歌い、そのメッセージには女性らしい芯の強さを感じます。4曲目の「Makeda」は何度聴いても色褪せない格好良さ。7曲目はシャーデーの「Sweetest Taboo」をフランス語でカバーしています。